

主要事業個別シート(第2次実施計画/H27・28年度)

ver.1.01

① 基本事項	計画コード	21015	事業名	学校図書館支援事業	部名	教育委員会事務局
	実施基本	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興	財	会計	01:一般会計
	体系	基本施策	01:子どもたちの学びと健全育成	務	款	10:教育費
	系	施策の方向	05:時代に即した教育の推進	科	項	08:教育研究費
		戦略プロジェクト	04:子ども輝きプロジェクト			
	事業予定期間	H 21 ~ H - 年度	主な根拠法令要綱等	子どもの読書活動の推進に関する法律、亀山市学校教育ビジョン、亀山市子どもの読書活動推進計画		

② 目的・概要	対象	市内幼稚園、小学校及び中学校の園児・児童・生徒
	目的	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の読書量を増加し、幅を広げ、質を高める。 児童生徒の主体的な情報活用能力を高める。 児童の家庭での読書習慣の定着を図る。
概要	<p>市内小学校11校において、図書館協力員を配置し、図書環境整備と子どもの読書活動・学習活動の支援を行う。また、学校司書を配置し、学校図書館を活用した授業の推進に取り組む。さらに、学校図書館情報システムを活用し読書活動の推進を図るとともに、学校図書館連携推進員を派遣して市内図書館・学校図書館のネットワーク化を推進する。また、家庭での読書環境充実のため、市内幼稚園及び小学校でファミリー読書リレーを実施する。</p>	

		平成27年度	平成28年度	
③ 年度別事業計画	計画額	事業費	10,300千円	10,300千円
		国庫支出金		
	県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源	10,300千円	10,300千円	
	予算額	事業費	10,300千円	10,300千円
		国庫支出金		
		県支出金		
		地方債		
その他				
期間内総事業費(H27・H28)①		20,600千円	期間外事業費(H29以降)② -	総事業費 (①+②) -

		平成27年度	平成28年度	(参考・平成29年度)	
①	名称	学校図書館を活用し、月3回以上授業を実施した学校数	12	13	14
	補足		校	校	校
②	名称	児童生徒の読書数	6	7	8
	補足	児童生徒の1ヶ月の1人あたりの図書貸出数	冊	冊	冊
③	名称				
	補足				
④	名称				
	補足				

事務事業評価シート

H27(主要事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	教育委員会事務局
	21015	学校図書館支援事業	室名	教育研究室
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興	財	会計 01:一般会計
	基本施策	01:子どもたちの学びと健全育成	務	款 10:教育費
施策体系	施策の方向	05:時代に即した教育の推進	科	項 08:教育研究費
	戦略プロジェクト	04:子ども輝きプロジェクト	目	目 01:教育研究費

② 目的・概要	対象	市内幼稚園、小学校及び中学校の園児・児童・生徒
	目的	・児童生徒の読書量を増加し、幅を広げ、質を高める。 ・児童生徒の主体的な情報活用能力を高める。 ・児童の家庭での読書習慣の定着を図る。
	概要	市内小学校11校において、図書館協力員を配置し、図書環境整備と子どもの読書活動・学習活動の支援を行う。また、学校司書を配置し、学校図書館を活用した授業の推進に取り組む。さらに、学校図書館情報システムを活用し読書活動の推進を図るとともに、学校図書館連携推進員を派遣して市内図書館・学校図書館のネットワーク化を推進する。また、家庭での読書環境充実のため、市内幼稚園及び小学校でファミリー読書リレーを実施する。

		27年度	28年度
①	名称	学校図書館を活用し、月3回以上授業を実施した学校数	計画値 12
	補足	実績値	8
		単位	校
②	名称	児童生徒の読書数	計画値 6
	補足	実績値	6
		単位	冊
③	名称		計画値
	補足		実績値
			単位
④	名称		計画値
	補足		実績値
			単位

年度計画				年度実績					
④ 事業の計画・実績	<ul style="list-style-type: none"> ○学校図書館情報システム管理 ○図書館協力員の配置(小学校11校) ○学校司書の配置 中:亀山・中部・関(各校週3日) 小:川崎・井田川(各校週2日)、亀山西・亀山東(各校週1日) ○学校図書館連携推進員の派遣 ○かめやましファミリー読書リレーの実施 				<ul style="list-style-type: none"> ○学校図書館情報システム管理 ○図書館協力員の配置(小学校11校) ○学校司書の配置 中:亀山・中部・関(各校週3日) 小:川崎・井田川(各校週2日)、亀山西・亀山東(各校週1日) ○学校図書館連携推進員の派遣 ○かめやましファミリー読書リレーの実施 				
	事業費	計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ①	758	平均給与額×③	
	国庫支出金		0			一般職員人件費 ②	758		
	県支出金		0			所要人員 ③	0.10		
	地方債		0			臨時職員人件費 ④	0		
	その他		0			受益者負担額 ⑤			
	一般財源	10,300	10,300	10,215		受益者負担率	0.0%		⑤ / ⑥
	再掲	翌年度への繰越額							
		前年度からの繰越額		0					
		総人件費		①	758				
	総コスト		⑥	10,973					

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館情報システムの利用により貸し出し業務を円滑に行うことができた。 ・全小学校への図書館協力員の配置により、学校図書館の読書環境の整備や読み聞かせなどの取組が充実した。また、図書館担当教職員研修会を行うことで、活動の共通理解やスキルアップが進んだ。 ・「かめやましファミリー読書リレー」の家庭への定着が進んだ。 	総合判定	A 順調に進んだ
	【反省点・課題】	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校間と市立図書館とのネットワークを有効活用し、子どもの読書量を高めたり、授業での図書館活用を増やしたりする必要がある。 ・「かめやましファミリー読書リレー」の取組を更に進め、家族ぐるみでの読書習慣を啓発していく必要がある。 		
	【改善の方向性】	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書に関わる職員研修会を開催し、本事業に関わるスタッフのスキルの向上を図る。 ・図書担当教員、学校司書、図書館協力員、図書館支援員に対して学校図書館システムの運用に係るスキルアップや活用のための情報提供と指導助言を行なう。 ・「かめやましファミリー読書リレー」の取組を、リレーバックの修復や貸出図書の新規追加などによって向上させる。 		
事業目的の妥当性: 適切		有効性: 適切	最終評価確認者: 教育研究室長 伊達 弘	